

実践×交流で実現する全国IT人材育成ネットワーク

文部科学省 情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業

分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク

(Education Network for Practical Information Technologies)



吉岡 信和, 桑野 文洋, 横山 重俊, 田辺 良則, 櫻井 浩子, 末永 俊一郎, 坂本 一憲

Nobukazu Yoshioka, Fumihiko Kumeno, Shigetoshi Yokoyama, Yoshinori Tanabe, Hiroko Sakurai, Shunichiro Suenaga, Kazunori Sakamoto

背景

種々の社会的課題が存在している。また、新たな社会的な価値や産業の創出が求められている。

情報技術の高度な利活用による解決が期待されている。

具体的な問題解決のできる人材育成が必要。

アプローチ

実践×交流

世界が求める新しい価値を作る

enPiTは最先端の情報技術を実践的に活用することができる人材育成をめざし、クラウドコンピューティング、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスアプリケーションの4つの分野において、大学と産業界による全国的なネットワークを形成し、実践的な情報教育の普及・推進を図ります。

enPiT Cloud

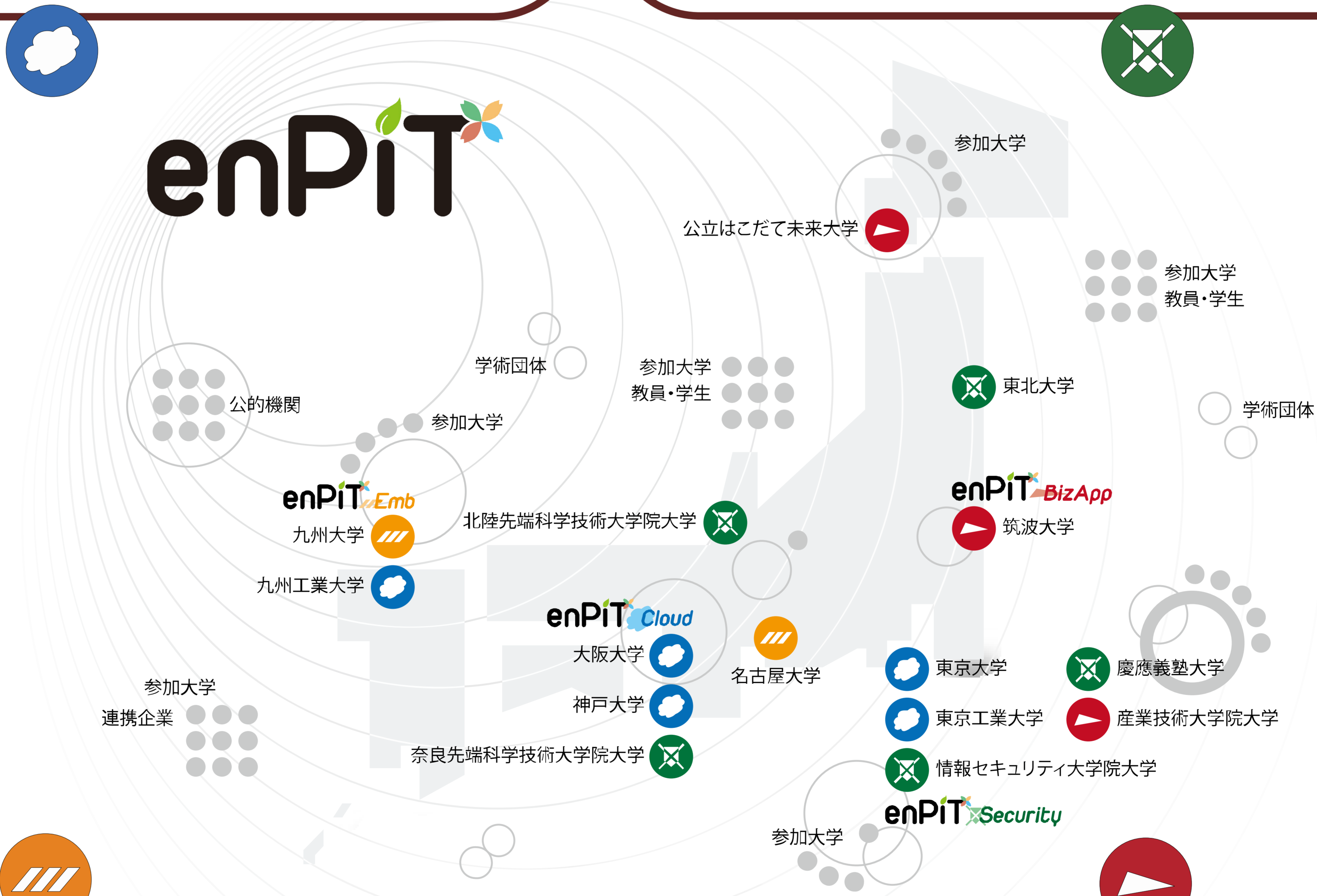
クラウド技術の本質を理解し活用できる人材の育成

ビッグデータの分析手法、新たなビジネス分野の創出といった社会の具体的な課題に対して、クラウド技術を活用し課題解決ができる人材を育成するプログラムです。複数人でチームを組み、情報システムを実際のクラウド基盤上で実装します。さらに、モバイル対応、負荷分散・スケーリング、大規模データ解析などを行うことで、クラウド技術を活用した問題解決方法やその効果について、実践的に体感することができます。

enPiT Security

産業界が求める実践セキュリティ人材SecCap

実環境利用型演習と、基礎力・応用力のある学習講義を通じて、産業界が求める「セキュリティ実践力のあるIT人材」を育成するプログラムです。暗号、システム、ネットワーク、監査等、幅広い演習プログラムと、最新の実習環境で、情報セキュリティへの脅威や攻撃への対処技術を実践的に体験習得することができます。さらに、実社会のセキュリティエキスパートが取り組むインシデント分析やセキュリティ実装の演習も行います。



enPiT Emb

付加価値の高いCPSを構築できる人材の育成

組込みシステムを中核とする、付加価値の高いサイバーフィジカルシステムを構築できる人材を育成するプログラムです。九州大学では連合型PBLを、名古屋大学ではOJLを中心とした、基本コース（主に修士課程1年生を対象）と発展コース（主に修士課程1・2年生を対象）を設けています。基本コースでは問題発見能力を、発展コースではプロジェクト管理技術とその運用方法に踏込んだ高度な問題解決能力の習得を目指します。

enPiT BizApp

先端情報技術を有機的に活用した実践的問題解決

進化を続ける先端情報技術や情報インフラを有機的に活用し、産業界が求める実践的問題解決能力を有する人材を育成するプログラムです。システム開発技法・ソフトウェア工学といったプロジェクト型開発、ユーザーセンタードesignのための問題分析・情報デザイン、モバイルアプリケーションの実装、品質確保のためのドキュメンテーションやレビュー、プロジェクト管理技術などを学びます。